

業務部速報



No. 85

発行 16. 4. 20

JR東労組 業務部



申20号女性が輝けるワーク・ライフ・バランスの実現を求める申し入れ 2回目交渉

第6項 全職場に育児・介護勤務をつくること。また、育児・介護勤務Aは通常時間を考慮した始就業時間を設定すること。

組合
会社

申請すれば適用するとの事だが、地方では列車ダイヤの設定上活用しづらい。検証するべきである。

◇育児介護制度活用に考慮するが、ダイヤに制限される職種には育児介護Aは難しい。

◇育児介護制度の時間を一般的に考えながら行路設定は支社、区所で心がけていく。

実績を検証し、鉄道業に相応しい制度にしていこう。



第7項 育児・介護制度AとBの要件を小学校までの期間に延長すること。また、育児・介護Bで付与される休日は本人の希望する日にすること。

第8項 育児や介護を行う社員に対する就業制限を小学校卒業までとすること。

組合
会社

・制度設定時から活用状況が変化している。小学校3年ではなく、延長する内容への制度変更は検討しないのか。
・育児介護Bの休日付与が、本人が希望している日でなく一方的に付与されている。制度を活用できない。

◇法令では3歳までだが、小さいほど負担が多く、小学校入学直後は様々なサポートが必要という当社の認識である。

◇将来的に制度を変えないと言うことではないが、社会環境の変化、社内の社員構成等の変化に対して対応して行く。

◇育児介護Bは、要員操配があるので会社が指定する。「休みたい場合は、年休、有給無休の取得選択肢がある。

◇ニーズを汲んでいないのではなく、他の手段も組み合わせたい。

制度はあるが、
鉄道業では
乗り越えることが
出来ない課題

第9項 業務に必要な各種資格は、育児や介護等の休職期間中に失効させないこと。

会社

◆休職中「適性検査」が更新されない理由

- ・適性検査等は「業務」で行う事。休職中に検査実施とはならない。
- ・業務から離れているので「登用時同様の検査が必要」になる。
- ・再検査にてクリアしなくても、体調等が戻り次第再度検査する。

会社

業務から離れることで不安が生じる事は受け止める。
両立支援等でケアしていく。
更新が必要な資格がある場合にはフォローする。

第10項 福島第一原発から20KM圏内の女性組合員の就業を禁止すること。万一20KM圏内を通過するような事態が生じた場合は、直ちに内部被曝検査を実施すること。

会社

- ◆厚生部 女性、男性で区分を設けているわけではない。危険性はあるが、放射線に対する医学的なものない。
- ◆人事部 不安が全くないと、言い切っていない。

会社

「就労および就労禁止に関する法令の根拠持ち合わせていないので、就労していただくしかない。」
「社員とともに精一杯不安解消に取り組んでいく。」
「それしかない。」
社員に不安を抱かせたまま仕事をさせるな!!
医学的根拠無し?! 大きな対立!!

組合

安全が確保されていないところで組合員を従事させることはできない!!

第11項 家事、育児、介護をしながら働く人を「標準労働者」とし、労働時間短縮や諸制度の改正を通じて働きがいのあるワーク・ライフ・バランスを実現すること。

「標準労働者」とは・・・日本社会の労働スタイルの基本が長時間労働となっており、労働時間を短縮し、家事、育児、介護をしながら働く人を「標準労働者」とすること。

会社

- ◆JR 東日本は、世の中で言われている「長時間労働」となっているわけではない。
- ◆業務の見直し、不用な業務の見直しに取り組んでいきたい。
- ◆育児介護勤務は、活用できていないという認識はない。育・介行路は、一定数見込めるとつくりやすい。

制度が定着しているか、
「検証」を強化しよう!

第12項 再就職支援制度の利用状況を明らかにすること。
また、結婚・出産・育児・介護・配偶者の転勤等を理由として退職した場合、JR東日本に再就職できる制度を確立すること。

会社

- ◆再就職支援制度の利用状況:登録者数 100 名強
 - ◆再就職者数:把握していない
 - ◆JR 東日本本体に再就職:1名
- 希望をして試験に合格すれば本体に再就職できる

【周知方法】

- ◆ガイドブックに制度の概要を記載
- ◆社員から問合せがあれば答える
- ◆JR 東日本グループ会社の求人情報を紹介

対象者に対し積極的に周知することを要請!!

会社

本体への再雇用を推し進め、業務知識や技術・技能・知識を有している社員を登用すべきだ!!
「様々な事情を抱えている社員が、辞めずに働き続けることが大切なこと。確認!!」

「たしろ かおる」参議院議員と共に
女性が鉄道業で働きやすい環境を実現しよう!!

たしろかおる参議院議員の活動はこちら

